

平成29年度 栗東市立図書館基本的運営方針に定める目標値に対する評価一覧

	目標項目	現在値 (平成29年度)	目標値 (平成33年度)	方針での該当箇所	取組方法	課題・問題等	自己評価	備考	外部の意見
1	年間の図書館利用登録者数	1,961人	2,050人	① ②	利用啓発(市広報、HP、チラシ作成)	未登録者に対して図書館へ行きたいと思わせる行事、広報活動を実施する必要がある。	2		
2	図書館実利用者数	16,695人	19,000人	① ②	利用啓発、行事広報	図書館へ行きたいと思わせる広報活動を実施する必要がある。	2		
3	図書館実利用率	24.40%	28.20%	① ②	利用啓発、行事広報	図書館へ行きたいと思わせる広報活動を実施する必要がある。	2		西館の見直しも含め利用促進に取り組んでほしい。
4	年間貸出冊数	630,862冊	700,000冊	① ②	利用啓発、開館日拡大検討	利用啓発並びに開館日の拡大を実施する必要がある。	2		休館日の拡大について検討をお願いしたい。
5	市民一人当たりの年間貸出冊数	9.2冊	10.4冊	① ②	利用啓発、魅力ある書棚づくりのための書架構成の見直し	読みたい本と出会える魅力ある書棚にする必要がある。	2		全国的に減少の状況というものの利用促進に努められたい
6	おはなし会の参加人数	810人	800人	③ ⑤	サービス対象者への広報	おはなし会を知ってもらうために市内施設との連携による広報活動を行う必要がある。	3		工夫によりサービスの拡大を図られたい。
7	障がい者サービス利用人数	10人	20人	⑤ ⑥	サービス対象者への広報	市担当課との連携により対象者に図書館利用への興味を持ってもらう必要がある。	2		ボランティアとの連携により進めていってほしい。
8	専門職員の司書資格者の割合	100%	100%	① ②	司書によるレファレンス、各種講座の実施、認知度の向上	司書によるレファレンス他、司書の働きについて知ってもらう必要がある。	5		
9	年間蔵書購入冊数	10,021冊	11,000冊	① ②	購入計画に基づいた選定、購入	購入計画の実施、必要に応じた見直しを行い最も適正な資料購入を行う必要がある。	2		図書館規模を考えると現在の2倍の購入冊数は必要と考える。
10	図書回転率	2.1回	2.3回	① ②	利用ニーズに合わせた資料選定	利用ニーズに合わせた資料選定並びに展示等による資料の紹介をおこなう。	2		
11	郷土資料の収集冊数	209冊	—	④	市役所担当課への依頼、広報出版情報の収集	市役所担当課への依頼及び郷土資料情報の収集をおこなう。	3		引き続き丁寧な収集を図られたい。

項目11については、目標値に含まれてはいないが、基本的運営方針項目の評価数値として列記している。

方針での該当箇所は下記の栗東市立図書館基本的運営方針の基本運営方針6項目

- ①市民一人ひとりの生涯学習を支えます
- ②暮らしや仕事の課題解決を支援します
- ③学校、家庭、地域と連携して子どもの読書活動を推進します
- ④郷土の歴史や行政資料を収集、保存、提供します
- ⑤市民との協働により、図書館運営や活動の充実に努めます
- ⑥図書館利用が困難な人を支援します。

評価基準

5	当初設定した目標を著しく上回る成果をもって達成
4	当初設定した目標を上回る成果をもって達成
3	当初設定した目標を概ね計画どおりに達成
2	当初設定した目標を未達成
1	当初設定した目標を著しく未達成

※ 平成33年度まで評価をおこなう

※ 内部の評価後、図書館協議会に外部評価を実施してもらう。